

NECマネジメントパートナー



# AWS 関連研修のご案内

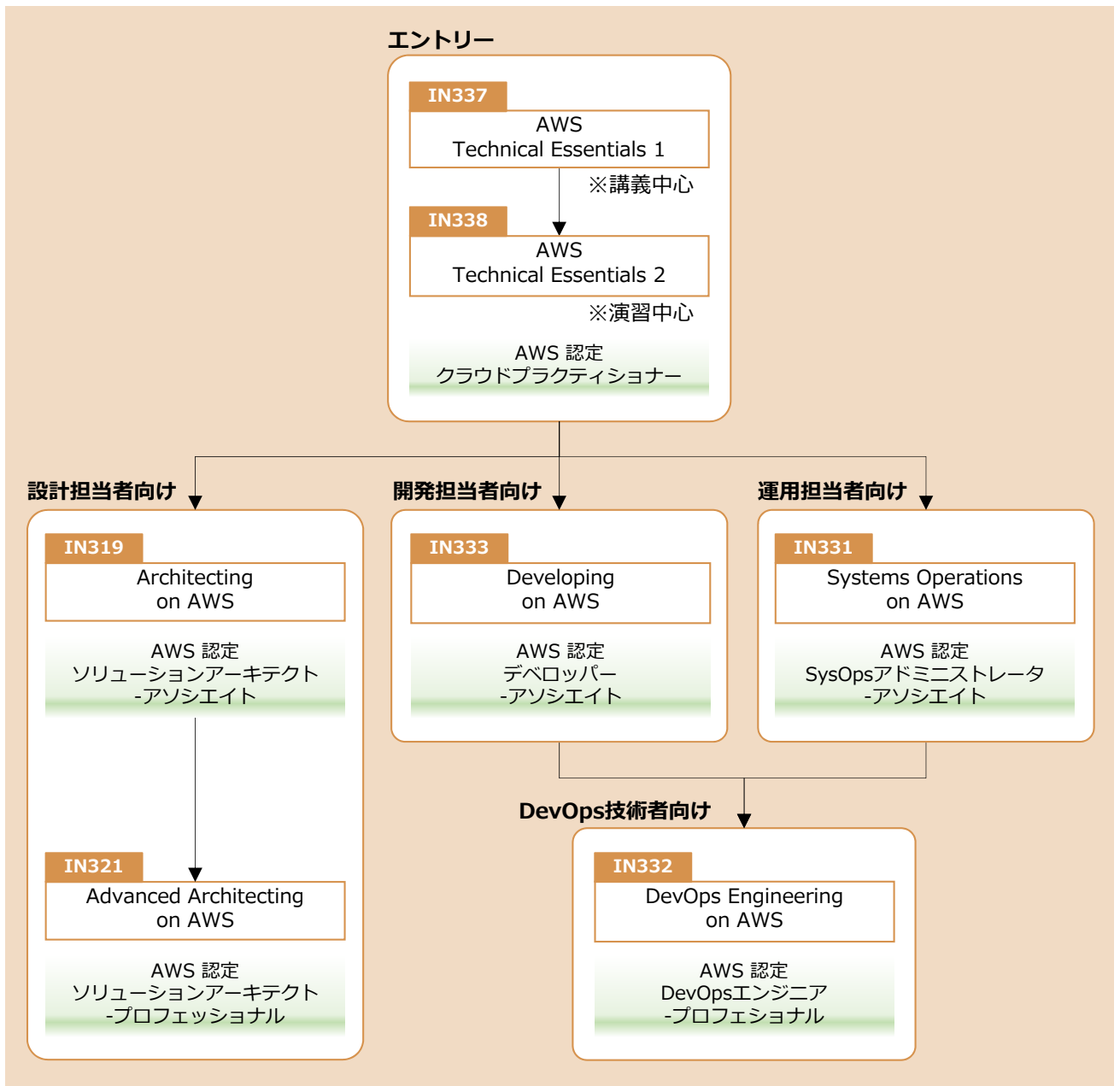
## 現場で活躍できる AWS 技術者を育成します。

NECマネジメントパートナーは、AWS 認定トレーニング(集合研修) の提供を通して、現場で即戦力として活躍できる技術者を育成します。

- ◇ エントリー：AWS に携わるすべての方におすすめのコースです。短時間で AWS の全体像を修得できます。
- ◇ 設計/開発/運用担当者/DevOps技術者向け：担当する役割ごとに専門性を高めるためのコースです。

これらのトレーニングは、AWS 認定技術者試験の準備コースとしても活用いただけます。

### AWS 関連研修コースフロー



□ : 集合研修      □ : 集合研修に該当するAWS 認定技術者試験

コースコード / コース名 / コース内容 / 講習日数 / 受講料(税込)			
イントロ	<b>IN337 AWS Technical Essentials 1</b>	<b>1日間</b>	<b>¥75,600</b>
	AWS が提供している製品やサービス、および一般的なソリューションと関連用語について、理解を深めるための基本知識を学習します。AWS をこれから使い始める方が最初に受講するためのコースです。(講義中心) 1.AWS の紹介と歴史 2.AWS 基盤サービス: EC2、VPC、S3、EBS 3.AWS のセキュリティ、アイデンティティ、およびアクセス管理: IAM 4.AWS のデータベース: RDS、DynamoDB 5.AWS 管理ツール: Auto Scaling、CloudWatch、Elastic Load Balancing、Trusted Advisor		
イントロ	<b>IN338 AWS Technical Essentials 2</b>	<b>1日間</b>	<b>¥75,600</b>
	実際に AWS のコアサービスを使った Web システムを構築および運用するための基本的な操作方法を修得します。AWS を利用する技術者、すなわちソリューションアーキテクト、システム運用管理者、デベロッパーの方を対象にデザインされています。(演習中心) 1.Amazon EC2 と Amazon RDS で最小構成のブログサイトを構築する 2.高い可用性を持つブログサイトを構築する 3.性能の監視とログの収集を行う 4.Amazon EC2 と Amazon RDS を拡張する 5.Amazon EC2 にスケーラビリティを追加する 6.バックアップ・リストアを行う		
設計担当者向け	<b>IN319 Architecting on AWS</b>	<b>3日間</b>	<b>¥226,800</b>
	AWS サービスおよび AWS のサービスがクラウドソリューションにどのように適合するかを把握し、AWS クラウドの使用の最適化方法を学習します。アーキテクチャのソリューションは、ビジネス規模や業界によって異なります。複数の AWS クラウドの設計パターンについて、特定のサービスがクラウド設計全体にどのように適合するか学習します。 1.はじめに 2.最も単純なアーキテクチャ 3.コンピューティングレイヤーを追加する 4.データベースレイヤーを追加する 5.AWS でのネットワーク (パート 1) 6.AWS でのネットワーク (パート 2) 7.AWS Identity and Access Management 8.伸縮性、高可用性、モニタリング 9.オートメーション 10.キャッシュ 11.疎結合アーキテクチャの構築 12.マイクロサービスと サーバーレスアーキテクチャ 13.RTO/RPO とバックアップ/復旧の設定 14.整理と復習 15.コースのまとめ		
設計担当者向け	<b>IN321 Advanced Architecting on AWS</b>	<b>3日間</b>	<b>¥226,800</b>
	「Architecting on AWS」コースでご紹介した内容を踏まえて、AWS 上でデータサービス、ガバナンス、セキュリティを組み込んだ複雑なソリューションを作成する方法について解説します。すでに AWS プラットフォーム上でスケーラブルで伸縮自在なアプリケーションを設計する経験をお持ちの方を対象としています。 1.AWS アカウント戦略 2.高度なネットワークアーキテクチャ 3.AWS 用の大規模なデータストアの設計 4.ウェブスケールのアプリケーション 5.耐障害性の構築 6.包括的なクラウドのセキュリティ 7.AWS 上の暗号化とキー管理 8.AWS でのデータセキュリティ 9.パフォーマンスを考慮した設計		
開発担当者向け	<b>IN333 Developing on AWS</b>	<b>3日間</b>	<b>¥226,800</b>
	AWS SDK を使用して、安全でスケーラブルなクラウドアプリケーションを開発する方法について解説します。コードを使用して AWS を活用する方法や主要なコンセプト、ベストプラクティス、トラブルシューティングのヒントについても紹介します。 1.基盤を構築する 2.イベントドリブン型処理によってアプリケーションとデータを接続する 3.安全でスケーラブルなアプリケーションを開発し、デプロイする		
運用担当者向け	<b>IN331 Systems Operations on AWS</b>	<b>3日間</b>	<b>¥226,800</b>
	システム管理者または開発運用 (DevOps) 担当者向けに、自動化や繰り返し可能なネットワークやシステムのデプロイを AWS プラットフォームで作成する方法について解説します。構成やデプロイに関係する AWS 特有の機能やツール、システムの設定やデプロイのために業界全体で使用されている一般的な技術についても紹介します。 1.「System Operations on AWS」の概要 2.クラウド内でのネットワーク 3.クラウド内でのコンピューティング 4.クラウド内でのストレージとアーカイブ 5.クラウド内でのモニタリング 6.クラウド内でのリソース消費量の管理 7.クラウド内での構成管理 8.クラウド内でのスケーラブルなデプロイの作成 9.自動化され、繰り返し可能なデプロイの作成		
DevOps 技術者向け	<b>IN332 DevOps Engineering on AWS</b>	<b>3日間</b>	<b>¥226,800</b>
	最も一般的な DevOps パターンを使用して、AWS 上でアプリケーションを開発、デプロイ、維持する方法を解説します。また、DevOps 方法の主要な原則を取り上げ、スタートアップ、中小企業、大企業の開発シナリオに適したさまざまなユースケースを紹介します。 1.DevOps とは何か 2.コードとしてのインフラストラクチャ、パート1: 設計とセキュリティ 3.コードとしてのインフラストラクチャ、パート2: CloudFormation と構成管理 4.AWS での継続的統合 5.AWS での継続的配信 6.AWS でアプリケーションをデプロイする、パート1 7.AWS でアプリケーションをデプロイする、パート2 8.AWS での継続的統合および配信パイプライン 9.デプロイのパフォーマンスのチューニング 10.インフラストラクチャの管理と自動化		

お問い合わせは、下記へ

人材開発サービス事業部 ラーニンググループ

URL: <https://www.neclearning.jp/> E-mail: [infrag@educ.jp.nec.com](mailto:infrag@educ.jp.nec.com)

研修申込センター

E-mail: [contact@learning.jp.nec.com](mailto:contact@learning.jp.nec.com) TEL: 03(4330)7560 FAX: 03(4330)7550

- 本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本資料では、TM や ® は明記しておりません。

